

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-029211

(43)Date of publication of application : 06.02.2001

(51)Int.Cl.

A47G 27/04

(21)Application number : 11-202473

(71)Applicant : ACHILLES CORP

(22)Date of filing : 16.07.1999

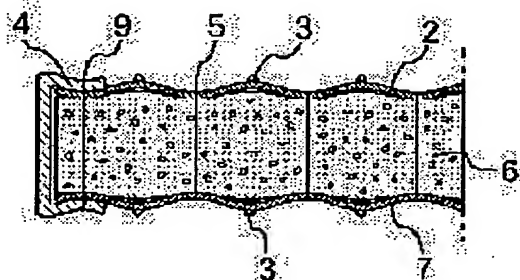
(72)Inventor : ISHIYAMA SHIRO

(54) UNDER CARPET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make a laminated body hardly slidable between a floor and a carpet to make the carpet to be placed in a stable state by laminating the surface cloth and the backside cloth made slip-proof on both faces putting a cushioning material with cushioning properties and integrally laminating the laminated body by quilting.

SOLUTION: A surface cloth 2 and a backside cloth 7 are laminated putting a cushioning material with cushioning properties therebetween. The laminated body is integrated by quilting the laminated body through the surface cloth 2 to the backside cloth 7 by sewing thread. Four sides of the laminated body is surrounded by a rim material 4 so that the upper face of the surface cloth 2 and the lower face of the backside cloth 7 are covered on the four sides and the upper and lower covered parts of the rim part 4 are sewed together by a sewing thread 9. Because the backside face is hardly slidable on the flooring and the surface is hardly slidable on the carpet thereon, the carpet placed on the under carpet is hardly slidable on the flooring and can be held in a stable state.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 23.04.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 04.11.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-29211
(P2001-29211A)

(43) 公開日 平成13年2月6日 (2001.2.6)

(51) IntCl.⁷
A 4 7 G 27/04

識別記号

F I
A 4 7 G 27/04

ターム(参考)
B 3 B 1 2 0

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-202473

(22) 出願日 平成11年7月16日 (1999.7.16)

(71) 出願人 000000077

アキレス株式会社

東京都新宿区大京町22番地の5

(72) 発明者 石山 史郎

滋賀県蒲生郡日野町増田 143番地

Fターム(参考) 3B120 BA03 CA01 CA11 DB01 EA01

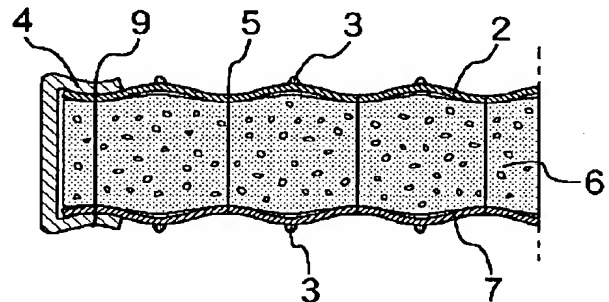
EA03 EA04 EA17 EB20 EB21

(54) 【発明の名称】 アンダーカーペット

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、住宅の居間のフローア上に敷いて使用するカーペット等の下敷きとして使用し、カーペット等とフローアとの滑りを防止するアンダーカーペットに関する。

【解決手段】 クッション性を有する緩衝材を挟んで、上面に滑り止め加工を施した表地と、下面に滑り止め加工を施した裏地とをそれぞれ積層し、これら積層体を、キルティングまたは接着にて一体積層してなるアンダーカーペット。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 クッション性を有する緩衝材を挟んで、上面側に滑り止め加工を施した表地と、下面側に滑り止め加工を施した裏地とをそれぞれ積層し、これら積層体をキルティングにて一体積層してなることを特徴とするアンダーカーペット。

【請求項2】 クッション性を有する緩衝材を挟んで、上面側に滑り止め加工を施した表地と、下面側に滑り止め加工を施した裏地とをそれぞれ積層し、これら積層体を接着にて一体積層してなることを特徴とするアンダーカーペット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、住宅の居間のフローリング上で使用されるカーペットや、玄関の上がり口に敷く玄関マット、風呂場の出入り口床面に敷くバスマット、或いは台所の流し台の前に敷くキッチンマット等の敷物の下に敷いて、これらの敷物と床面での滑りを防止するアンダーカーペットに関する。

【0002】 従来、住宅における居間のフローリング上には、インテリアとして、また直接その上に座ったり寝ころがったりした場合に体が痛くなく、感触を良くするために、カーペットが使用されている。また同様に、玄関の上がり口では玄関マットが使用され、風呂場の出入り口ではバスマット、台所の流し台の前ではキッチンマットなど、それぞれの床面上に適した敷物が使用されている。

【0003】 このような目的で使用される住宅床上の敷物は、単に床面上に置いてあるだけでは、玄関マット、バスマット、キッチンマットのような小さく軽いものでは、床面上で敷物が滑り易く、歩行のたびに敷いた位置がずれて見栄えが悪くなったり、滑って転んだりし易い問題があった。また、居間に使用するカーペットのように比較的大きな敷物であっても、居住者が頻繁に歩行をしたり、動きが激しいために、部分的にずれ動いたり、捲り上げられたりし易く、歩行者が滑ったり、つまずいたりする虞があった。

【0004】 このような点に鑑み、実用新案登録第3032041号考案や特願平7-258744号発明に見られるように、敷物の下面に滑り止め加工を施し、滑りにくい構造とした考案、発明が提案されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、特願平7-258744号発明にあつては、裏面には滑り止め加工が施されてはいるものの、上面は合成樹脂シートであり、実用新案登録第3032041号考案にあつても、裏面には滑り止め加工が施されてはいるものの、上面は綿、化学繊維等からなる不織布であり、これらの上面に敷設するカーペット等の間においては滑り止め効果が不十分であり、敷物が動いたり、捲れたりする虞があ

った。

【0006】 本発明は、このような点に鑑みなされたもので、アンダーカーペットの上に敷く敷物いかにかわらず、床面との間においても、敷物との間においても滑りにくく、安定した状態に敷物を設置することができるアンダーカーペットを提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明の請求項1に記載のアンダーカーペットは、クッション性を有する緩衝材を挟んで、上面側に滑り止め加工を施した表地と、下面側に滑り止め加工を施した裏地とをそれぞれ積層し、これら積層体をキルティングにて一体積層してなることを特徴とするアンダーカーペットである。また、請求項2に記載のアンダーカーペットは、クッション性を有する緩衝材を挟んで、上面側に滑り止め加工を施した表地と、下面側に滑り止め加工を施した裏地とをそれぞれ積層し、これら積層体を接着にて一体積層してなることを特徴とするアンダーカーペットである。

【0008】

【発明の実施の形態】 図面実施例に従って説明をする。図1は、本発明のアンダーカーペットの一実施例を示す斜視図である。図2は、図1に示すアンダーカーペットのA-A線部分拡大断面図である。図3は、本発明の他の実施例であるアンダーカーペットの図1 A-A線に該当する部分の部分拡大断面図である。

【0009】 この図1、図2に示したアンダーカーペット(1)は、クッション性を有する緩衝材(6)を挟んで、上面側に滑り止め加工(3)を施した表地(2)と、下面側に滑り止め加工(3)を施した裏地(7)とをそれぞれ積層し、これら積層体をキルティング(5)にて一体積層し、四方周辺を縁材(4)を介して縫着一体化してなることを特徴とするアンダーカーペット

(1)である。また、図3に示す実施例では、クッション性を有する緩衝材(6)を挟んで、上面側に滑り止め加工(3)を施した表地(2)と、下面側に滑り止め加工(3)を施した裏地(7)とをそれぞれ積層し、これら積層体をそれぞれ接着し、この積層体の四方周辺を縁材(4)を介して縫着一体化してなることを特徴とするアンダーカーペット(1)である。

【0010】 クッション性を有する緩衝材(6)は、クッション性、緩衝性、遮音性に優れた嵩高のものが好ましく、軟質ポリウレタンフォーム等の合成樹脂フォームやラバーフォームなどの他、ポリエステル綿等の綿材を圧縮して板状に形成した硬綿やフェルト等が使用できる。厚さは、良好なクッション性や、折り畳み、収納、持ち運び等の取り扱い性から、下敷き物としての適度の厚さを考慮して、緩衝材(6)として5～30mm程度のものが適当である。

【0011】 表地(2)及び裏地(7)は、生地には滑り止め加工(3)を施したものであり、生地としては綿、

ウール、合成繊維などからなる不織布、織布など、摩擦に対して強度を有するものが好ましい。表地（２）及び裏地（７）は、それぞれの生地は同一のもので良いが、異なる種類の生地の組み合わせであっても良い。

【0012】滑り止め加工（３）は、合成樹脂エラストマーやポリ塩化ビニル樹脂などの合成樹脂、ゴムなど比較的摩擦抵抗の大きい樹脂を生地上に施すことによって行うものであり、図１～図３に示した実施例では、表地（２）及び裏地（７）の生地上に突起状に点在させて施している。滑り止め加工（３）は、これらの実施例のように生地上に突起状に点在させる構成だけでなく、滑り止め材を生地上に多数の直線列状に配設したり、あるいは格子状に配設したりしても良く、又、生地上に全面加工しても良く、特にその配設形状に限定されるものではない。また、表地（２）と裏地（７）に施す滑り止め加工（３）の構成は、表地（２）と裏地（７）で同一構成であっても良いが、表地（２）と裏地（７）で別構成の組み合わせを取っても良い。

【0013】図１、図２に示した実施例の場合、クッション性を有する緩衝材（６）を挟んで表地（２）と裏地（７）を積層し、これら積層体を、表地（２）から裏地（７）まで縫糸によりキルティング（５）をすることにより積層一体化している。キルティング（５）は、図１実施例に示すような直線縫いの他、円形や楕円形、その他適宜装飾形状に施して良く、キルティング幅は緩衝材（６）が表地（２）と裏地（７）の間で動いたり、偏ったりしない範囲で自由に設定することが出来る。そして、これらの積層体の四方周辺に、表地（２）の上面及び裏地（７）の下面が被さるようにして縁材（４）を囲繞し、縁材（４）の上下被覆部分を縫い糸（９）により縫着しているものである。縁材（４）は比較的強度があるシート材であれば何でも良いが、表地（２）および裏地（７）とのバランスの点から、織物等が好ましい。

【0014】図３に示した実施例の場合、クッション性を有する緩衝材（６）を挟んで、上面側に表地（２）を積層し、下面側に裏地（７）を積層し、接着剤（８）を施して接着積層一体化させたものである。接着剤は表地（２）と裏地（７）の裏面、あるいは緩衝材（６）の表面に全面的に施して接着しても良いが、部分的に施して接着接合させても良い。また、緩衝材（６）が軟質ポリウレタンフォームのように熱溶解性を有するもの場合は、緩衝材（６）の表面を加熱熔融させて接着性を有する表面とし、その上に表地（２）及び裏地（７）を積層し、加圧冷却して熔融樹脂を固化させ接着一体化させる、例えばフレイムラミネート法によっても良い。そして、図１、図２実施例と同様に、これらの積層体の四方周辺に、表地（２）の上面及び裏地（７）の下面に被さるようにして縁材（４）を囲繞し、縁材（４）の上下被

覆部分を縫い糸（９）により縫着してなるものである。

【0015】

【発明の効果】本発明のアンダーカーペットは以上の通りであり、アンダーカーペットの表裏両面に、滑り止め加工が施された表地及び裏地が積層されているため、裏面においてはフローリングとの間で滑りにくく、表面においてはその上に敷く敷物との間で滑りにくいので、アンダーカーペットの上に敷く敷物は、フローリングに対して滑らず、安定した状態に保てるものである。更に、クッション性を有する緩衝材が表裏面材の間に介在しているため、敷物使用中に、部分的に荷重が掛かると緩衝材が部分的に沈み込み、その部分で裏面に荷重がより多く掛かるようになるので、滑り止め効果は更に大きくなるものである。

【0016】また、緩衝材の存在により、クッション性に優れて敷物使用の感触も良く、保温性、防音性にも優れているので、住宅のフローリング敷物のアンダーカーペットとして極めて好適なものである。

【0017】請求項１記載のアンダーカーペットでは、表地、緩衝材および裏地がキルティングにて一体積層されているため、表地と緩衝材、および裏地と緩衝材のそれぞれの間には空隙が形成され、保温性はより良好となる。請求項２記載のアンダーカーペットでは、表地と緩衝材、および裏地と緩衝材とがそれぞれ接着剤にて一体積層されているため、アンダーカーペットの表裏面は平滑になっており、その上に敷く敷物が安定した状態で敷き易く、取り扱い易い。

【0018】本発明のアンダーカーペットは以上のように、上に敷く敷物の滑り止め効果が大きく、クッション性、防音性にすぐれているので、住宅のフローリング上に敷く敷物のアンダーカーペットとして好適なものである。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明のアンダーカーペットの一実施例を示す斜視図である。

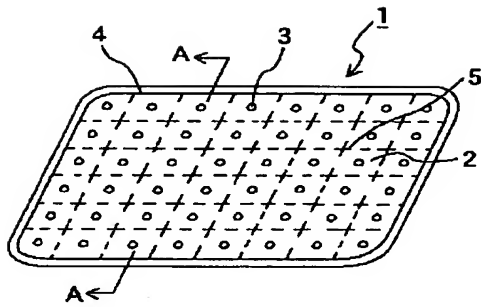
【図２】図１に示すアンダーカーペットのＡ－Ａ線部分拡大断面図である。

【図３】本発明の他の実施例であるアンダーカーペットの図１Ａ－Ａ線に該当する部分の部分拡大断面図である。

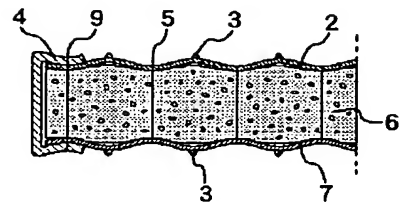
【符号の説明】

- 1 アンダーカーペット
- 2 表地
- 3 滑り止め加工
- 4 縁材
- 5 キルティング
- 6 緩衝材
- 7 裏地

【図1】



【図2】



【図3】

